

災害用バルク設置事例(5)

〈サンブライトいずみ〉

補助事業者

岩谷興産 株式会社
(大阪府中央区淡路町4-4-11)

取りまとめガス事業者

岩谷産業 株式会社
(東京都港区西新橋3-21-8)

設置先

サンブライトいずみ
(神奈川県秦野市南矢名2250)
平成20年10月 設置

メーカー／機種

エスケイシリンダー 株式会社
／MEX100K-1(1,000kg貯槽)

設置場所

マンション敷地内の脇に設置。
元はプロパンボンベ貯蔵庫だった場所を利用。
隣には貯水槽、正面地下には防火水槽がある。
(燃焼機器は、バルク脇に保管用の小型物置を設置)

災害用バルクの今後の活用

今後は利用に慣れることを目的に、防災訓練を自治会とともに計画している。
いざという時に設備を活用できるように、年1回の割合で防災訓練を行う予定。



〈いずみストア前で
マンションオーナー:小早川多喜江さん〉



〈秦野営業所の今井所長〉



〈プロパンボンベ置場に設置した災害用バルク
と備品を収納した倉庫〉

設置に至る経緯

取りまとめガス事業者の岩谷産業より、設置先選びの依頼を受け、中央セントラル秦野営業所が、お客様であるオーナーの小早川様に提案した。
当初、18本のプロパンボンベで供給しており、そのプロパンボンベを貯蔵していた場所に設置することになった。
近くにある東海大学の学生たちを預かっている責任から、いざという時に備え、布団や食料の確保を考えており、災害用バルクの提案に、とても喜んで快諾して下さいました。

設置先のコメント

(サンブライトいずみ:オーナー 小早川多喜江さん)
話をもちかけてくれたときは、とてもうれしかった。
マンション経営以前から、同じ地域でスーパーマーケットを経営しており、地元に戻元したいと考えていた。
マンションの居住者はほぼ100%東海大学の学生たちなので、その責任からも災害時の備えを万全にしたいと思っていた。



〈サンブライトいずみ:
写真左下部分にバルクが設置されている〉

災害時の対応案

- ・付近には農家があり、マンションオーナーが経営しているスーパーマーケットもあるため、食糧の確保が出来る。
- ・バルク横には貯水槽があるので、水の確保もある。
- ・農家だったころの布団を残しており、冬場の災害時には多少の寒さを凌げる。
- ・マンション1階の一部は屋根付きの駐車上のため、雨でも炊き出しが出来る。

プロパン・ブタンニュース
平成21年2月9日(月)掲載記事より